

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日：令和 2年 1月 7日

事業所名：放課後等デイサービス ままポケット

		チェック項目	はい	いいえ	施設回答 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	パソコン等を行うスペースなど用途によって仕切りで区切っています。 軽運動など動きのある活動など取り組み内容によってはスペースが狭いと感じることがある為、長期休暇など時間に余裕がある時は、地域の施設などを利用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	10人の定員に対して、3～4人の指導員の配置ができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	手すり、スロープなどは設置されていません。 玄関、トイレは、間口が狭い為、車いすでの利用は難しいです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	PDCAサイクルに乗っ取って事業改善を行っていないが、月に1回は会議を開き、現在の状況の確認や、今後の課題などを話し合っ事業改善にあたっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	令和元年11月に保護者等向け評価のアンケート調査を実施しました。 保護者の評価と、事業所の自己評価を元に会議を行い業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	事業所の会報では公表していないが、ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	できる限り研修に参加し、参加後は研修報告書を提出し、参加していない職員に研修の内容を報告しています。 今後も同じ職員ばかりが研修に参加することが無いように、交代で参加し、資質の向上を図っていきます。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	半年に1回モニタリングを行い、目標に対する子どもの状況を確認しています。これをもとに、子どもと保護者のニーズや課題を再度確認し、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	アセスメント票を元に支援や状況把握に努めています。今後はアセスメント票を定期的に更新をしていきます。また、KIDSやS-M社会生活能力検査などのツールが使用できるよう、職員の専門性を高めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	季節のイベントや誕生日会、食育等、同じような活動にならないように活動のプログラムを職員で話し合って決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	季節のイベントや誕生日会、食育等、同じような活動にならないように活動のプログラムを職員で話し合って決めています。子どもや保護者の希望も、利用時間や子どもたちの状況に合わせて、可能な限り取り入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	休日や長期休暇は、平日にはできない外出やプールなどを行っています。学習の課題などは、定期的に状況を振り返りながら、課題を変更するなどしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	個々で行う学習や工作、集団で行うリトミックや軽運動などを取り入れています。また、子どもたち同士で物の貸し借りなどコミュニケーションができるように課題を設定し。介入、補助などの支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	始業前に当日の利用者の出欠席、送迎や取り組み内容、配慮事項、前日からの引継ぎなどの確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	支援後には、当日の振り返りなどを行い、休みの職員には翌日等に引き継ぐようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	支援の記録を取り、モニタリング、個別支援計画の作成、サービス担当者会議
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	半年に1回モニタリングを行い、目標に対する子どもの状況を確認しています。これをもとに、子どもと保護者のニーズや課題を再度確認、変更し、個別支援計画を作成しています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	0	自立支援、創作、地域交流、余暇の基本活動について、トイレトレーニングなどの身辺自立、季節の工作などの創作活動、外出活動や買い物学習、地域清掃などの地域交流、リミックや散歩などの余暇、の各領域に合わせた取り組みを行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	児童発達管理責任者が指導員に対象児の日々の様子や課題などの状況の聞き取りなどを行ってから、障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0	受け渡しの際などに当日の様子などの聞き取りを行っている。 また学校に子どもたちの次月の利用予定を報告し、下校時間の確認などの情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	現在医療的ケアの対象となる児童は利用していないが、今後医療的ケアの対象となる児童が利用する場合には主治医等と連絡体制を整え受け入れます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	現在まで就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所を卒業したタイミングで利用開始をした対象児がいなかった為、保育所など情報共有は行っていません。 今後、対象となる児童が利用開始する場合には、情報共有を行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	6	今までに学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行した児童はいませんが、今後障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいる場合には、情報提供などをし、スムーズに移行ができるように引継ぎをしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	できる限り参加しています。 今後いろいろな指導員が研修等に交代で参加できるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	外出活動などで地域の施設などを利用しています。 地域のイベントが定休日の日曜日に開催されることが多い為、スケジュールが合わないことが多いが、日程が合えば参加を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	(地域自立支援)協議会が放課後等デイサービスを対象に開かれていない為、参加していません。 岐阜県等が行う研修には参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	送迎時や連絡帳などで日々の様子や状況の変化を共有しあっています。 今後も定期的にニーズ調査や面談を行い、発達の状況や課題について共有、対応していきます。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	ペアレントトレーニングは行っていないが、進路や発達などの不安や悩みに対して随時助言や相談にのっています。 今後はペアレントトレーニングの研修に参加するなど指導員の専門知識を増やしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	利用契約時に運営規程、支援の内容、利用者負担等について説明し、疑問点などはその都度確認、解消しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	進路や発達などの不安や悩みに対して送迎時や、希望があればその都度面談などの機会を設け、助言や相談にのっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	父母の会の活動に参加したい方と、参加を希望されない方がいらっしゃるの、その希望を踏まえ、どのような活動にニーズがあるのか検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	苦情の受付については契約時の書類に明記している。 苦情があれば、対応の体制に基づき対応します。 また苦情とならないよう、日々の様子や体調などの変化について、送迎時などに保護者に情報を詳しく伝えていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	次月の利用希望を確認する際に次月の取り組みや行事予定を配布し、また先月の様子をお知らせとして配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	情報や写真の取り扱いには注意しており、写真などを使用する際にはその都度、保護者に使用の許可を頂いています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	子どもたちに対しては手話、指文字、絵カード、ホワイトボードなどのツールを利用しています。 今後も手話、指文字がスムーズに使用できるように精度を上げていき、個々に合わせたコミュニケーション方法を今後も工夫していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	個人情報の兼ね合いで、地域住民を事業所内に招くことはないが、地域清掃、挨拶、買い物学習などの際に交流を図っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	各マニュアルを作成しています。 今回の保護者評価でマニュアルや緊急時の対応方法、防災訓練の状況などの保護者への情報周知が十分でないことが分かったので、定期的に情報を報告できるようにします。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	月に1回、防災訓練を行っています。 避難場所まで歩いて経路の確認を行ったり、火災・地震の際の避難の約束などを動画や紙芝居を見て確認するなど、子どもたちに分かりやすいような訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	できる限り研修に参加し、参加後は研修報告書を提出し、参加していない職員に研修の内容を報告しています。今後も同じ職員ばかりが研修に参加することが無いように、交代で参加していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	身体拘束について、やむを得ず必要がある場合には、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	医師の指示を保護者に確認して食べ物の提供を行っています。 アレルギーがあるお子様には、提供するおやつや食材の原材料を保護者に確認して頂き、許可を取って提供しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	新しい職員にはヒヤリハット報告書の詳細について十分に説明、周知できていなかったもので、今後は説明、周知し、共有できる状態にします。